

2024年6月28日
阪神高速道路株式会社

2024年度 公募手続きの公示見通しの公表について

当社建設事業本部における2024年度の建設コンサルタント業務等に係る参加者の有無を確認する公募手続きの公示見通しを次のとおり公表する。

なお、ここに記載する内容は、2024年6月28日の見通しであるため、実際に実施される公募手続きの公示がこの記載と異なる場合、またはここに掲載されていない公募手続きの公示が出される場合がある。

業 務 名	大阪建設部管内の既存街路構造物における阪神高速道路への移管調査等業務（2024年度）
公示予定時期	2024年7月上旬
そ の 他	<p>本業務は、淀川左岸線（2期）区間（海老江～豊崎）における大淀入路（仮称）の一部区間において、供用中の既存街路を活用した計画が検討されているため、阪神高速道路としての供用を想定した照査を実施（幾何構造・耐震・疲労対策等）し、上記照査の上で、阪神高速道路における、これまでの既存橋梁の改築時（JCT改築・新神戸トンネル移管時等）の補強・補修等に係る技術的判断とを比較し、都市高速道路管理者としての補強・補修等に係る妥当な技術的見解を調査・検討するものである。</p> <p>また、本業務対象区間に対し、本業務対象区間特有の制約条件等を踏まえて適用した新たな技術に対して、適用に至った経緯・必要性・技術的根拠等を整理し、供用後に必要な維持管理対応方法の提案を行うとともに、他の建設事業や次世代人材への技術継承に資する調査・検討を行うものである。</p> <p>さらには、上記2項目のとりまとめにあたっては受注者側における有識者による委員会等を組織し、委員会審議を行いながら</p>

その内容を適切に反映しつつ検討を進めていくものであり、独自性の高い業務である。